

平成29年度

都留市立禾生第一小学校

学校経営の基本方針

- 1 子どもの自立のため（生きる力）
- 2 やまなしスタンダード・禾一スタンダードによる授業展開
- 3 チームで取り組む
- 4 ユニバーサルデザインの教育活動
- 5 主体的・対話的で深い学びの提供
- 6 道徳科への準備

学校経営グランドデザイン

学校教育目標

自分をみがき、
人とかがわり、
未来をひらく
子どもの育成

学校経営の重点課題

- 1 学力向上（基礎学力の定着）
- 2 禾一スタンダードを磨く
- 3 道徳科教育の推進
- 4 体力・気力の充実
- 5 地域のよさを生かした教育活動の推進
- 6 安心・安全の保障

Action

めざす学校像

今日が楽しく、明日が待たれる学校

Plan実現させる具体的な姿

学校

- ①山梨県の平均レベルまたはそれ以上の学力を児童に付けさせている。
- ②学びのセーフティネットを保障している。
- ③集団の規範、社会のルール・マナーを教えている。
- ④読書する環境が整っている。
- ⑤地域のよさを児童に伝えている。

子ども

- ①学習習慣を身に付け、県平均レベルの学力が定着している。
- ②課題に対して、自分の意見を持って聞いている。
- ③ノートの重要性を認識しており、書くことで思考力を高めている。
- ④読書に喜びを感じている。
- ⑤自分のよさ、友達のよさが言える。
- ⑥ふるさとのよさを知っていて、将来、何かの形で貢献しようと考えている。

教師

- ①児童に基本的な学力を付ける確かな指導力を持っている。
- ②児童から「リスペクト」されている。
- ③禾一小という組織の方針・方法・決めごとを守って指導している。
- ④服務規律を遵守している。

年間1回の研究授業 100%

Do 学力向上プロジェクト

「思いやる子」プロジェクト

- ①基本的生活習慣の確立
 - ・マナーアップ、あいさつ、返事
 - ・早寝、早起き、朝ごはん
 - ・5S（整理、整頓、清潔、清掃、しつけ）の徹底
- ②心豊かな児童の育成
 - ・教科化を踏まえた道徳教育の充実
 - ・（私たちの道徳の活用、授業公開）
 - ・福祉、ボランティア教育の推進
 - ・児童会活動の充実
 - ・体験活動の重視
 - ・外部講師の積極的な活用
- ③個を生かした学級づくりに努める
 - ・仲間とのふれあいを通じた心の居場所づくり
 - ・自己有用感の醸成

気持ち良いあいさつのできる子95%

「考える子」プロジェクト

- ①話を聞くことができる
 - ・落ち着いた生活態度、学習態度
 - ・きき合い（聞・聴・訊）から学び合いへの展開
- ②基礎的・基本的内容の確実な定着を図る（禾一スタンダードによる展開）
 - ・授業開始、終了の厳守
 - ・指導法、板書の工夫、改善
 - ・少人数指導や学びの場の工夫改善
 - ・漢字力、計算力（学びの時間）
 - ・家庭学習の内容の見直し
- ③学び方の習得を図る
 - ・家庭学習の手引、学びの甲斐善八か条の活用
 - ・ノート指導、ノート展覧会、読書指導
 - ・アクティブラーニングによる主体的学び

読書 年間50冊以上(低 80% 高70%)

「きたえる子」プロジェクト

- ①たい力（体力・耐力）づくり
 - ・体力づくり、基礎体力の向上
 - ・体育行事、一校一実践の充実
 - ・運動量を増加させる体育科授業の工夫
 - ・がまん強さ、忍耐力を身に付ける。
- ②正しい自己管理の育成
 - ・食に関する積極的な指導
 - ・薬物乱用防止教育
 - ・性に関する指導
- ②安全・安心
 - ・交通安全教室、安全点検、通学路点検
 - ・避難訓練、1分1コマ避難訓練

体力A+B 10%アップ
交通事故・大けが0 100%

「開かれた学校づくりをすすめる」プロジェクト

- ①学校だより、学年・学級だより、ホームページ等を通して学校生活の様子を保護者や地域に発信する。
- ②授業参観日には、保護者だけでなく学校評議員、スクールガード、学童の先生、放課後子ども教室の先生、禾生地域協働のまちづくり推進会の方々などにも公開する。
- ③年2回学校評価（PDCA）を行い、結果の説明と改善に努める。
- ④学校評議員会を開き、助言を「質の高い教育活動」へとつなげるとともに、授業への参画もお願いする。

Check 授業分析・学校評価・子ども保護者アンケート・いじめ、体罰

Action 平成30年度計画の今年度内作成